

第2回CCS長期ロードマップ検討会 ～伊藤忠商事の取組と提言～

伊藤忠商事株式会社

2022年2月24日



ひとりの商人、無数の使命

伊藤忠商事として下記の2つのNEDO事業に参加中。
CO2回収～輸送～地下貯留で一貫した事業化検討をNEDO事業を通じて行う事で、
官民が連携したCCS事業の商業化を目指す。

① CO2船舶輸送に関する研究開発および実証事業

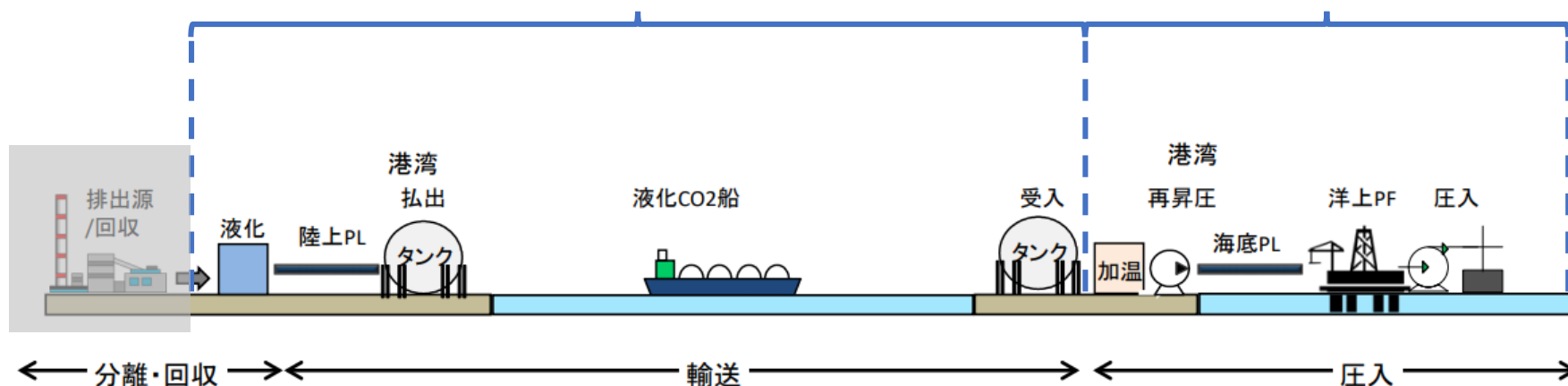
－伊藤忠は国内CO2船舶を用いた輸送ビジネスモデルの検討を実施中

② 二酸化炭素地中貯留技術研究組合

－伊藤忠は回収～輸送～貯留適地のCCSバリューチェーンでのビジネスモデルを研究中

①CO2船舶輸送に関する研究開発および実証事業

②二酸化炭素地中貯留技術研究組合



- 日本でも英国と同様なメカニズムで、回収～輸送～貯留のCCSバリューチェーン単位でのコンソーシアム入札に対して政府補助金を交付することが民間事業者主導によるCCS立ち上げを促すと思慮。
- 一方、CO₂の社会的コストも定まらない中、民間事業者がCCSをビジネスの商材として取り扱うことは現状困難。従い、まずは民間事業者が実施するCCSバリューチェーンの事業化調査に対する政府補助金を手厚くしていただきたい。

各国の最近の動向：④英国・CCUSクラスター構想

● プロジェクト概要：

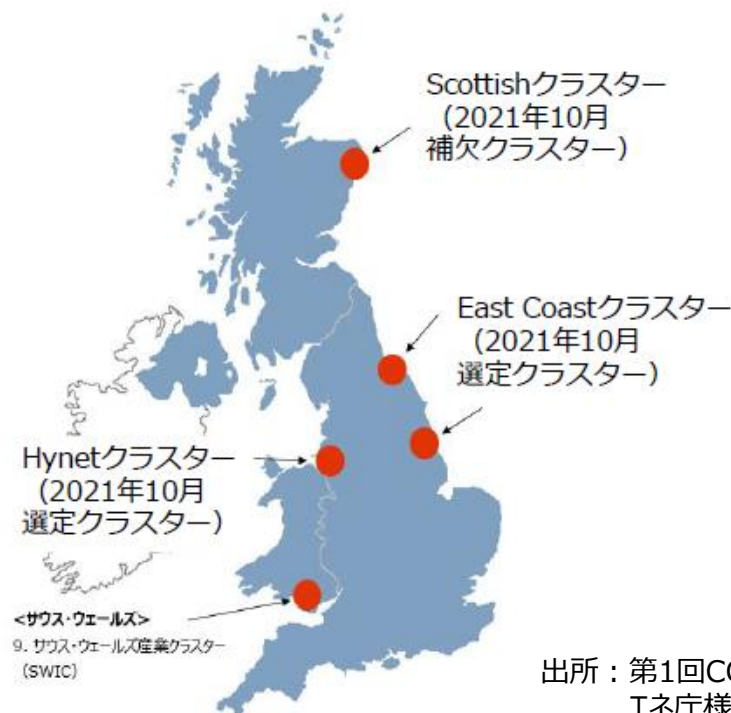
- 2020年代半ばまでに2か所でCCUSクラスターを、2030年までにさらに2か所でCCUSクラスターを展開する目標を設定

● CO₂圧入量：2700万トン/年 (East Coast)、1000万トン/年 (Hynet)、700万トン/年 (Scottish)

● プロジェクト規模：政府は、10億ポンド (CCUSインフラストラクチャ基金) を出資

● スケジュール：

- 2021年10月：政府がCCUSインフラストラクチャ基金による出資プロジェクトを選定
- 2022年初め：FIDを予定
- 2025年：2か所でのCCUSクラスターの稼働を目指す
- ~2030年：さらに2か所でのCCUSクラスターの稼働を目指す



(JETRO (2021:
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2021/0401/839771ec36d1ea42.html>))に加筆)

出所：第1回CCS長期ロードマップ検討会
エネ庁様プレゼン資料P22より